

平成30年2月から甲状腺外来を始めます



循環器系は他の臓器より甲状腺ホルモンの影響を受け易いため、甲状腺と心臓の関連性は強いと言われております。

例えば、バセドウ病等の甲状腺機能亢進症が、心房細動という不整脈の原因となっていることがあります。その場合、甲状腺に対して適切な治療を行わないと脳梗塞、心不全を起こしてしまう危険性があります。

また、動脈硬化の危険因子の脂質異常症(高コレステロール血症)は放置すると、心筋梗塞等の致死性疾患を引き起こすことがあります。また、脂質異常症の約 10%に甲状腺機能低下症が潜んでいるとの報告もありますので、この場合でも適切な甲状腺機能のコントロールが重要となります。

平成 30 年 2 月から甲状腺専門外来を開始します。
診療は月～木曜日に行います。甲状腺疾患が心配やお悩みの方は、循環器内科外来 楠元までお越し下さい。
また毎月第 2、4、5 週火曜日は動脈硬化外来（福岡大学病院心臓血管内科講師:桑野 孝志先生）も行っております。受診を希望される方は循環器内科まで御相談下さい。

